

医療安全面でも知っておきたい！

# エンゼルケアの コミュニケーション

患者さんに看護師として行う最期のケアともいえる「エンゼルケア」は、ご本人にとって、ご家族に対してとても配慮が必要となる大切な行為です。ご家族とのささいな行き違いからトラブルになることもあるので、エンゼルケアのコミュニケーション能力を高め、安心して最期のケアを行いませんか？

## 更衣も看取りの貴重な一場面

30年ほど前、病院で患者さんが亡くなりお帰りになる際には、病衣や療養用の浴衣をお召しいただくことがほとんどでした。

しかしその後、ご家族がお持ちになった衣類をお召しいただく方向になりました。以前は和服が多い印象でしたが、最近では思い思いの衣類で更衣することが一般的になってきました。お気に入りだったブラウスとスカート、ワンピース、大切な日に着ていたスーツとネクタイ、地元の消防団活動の制服、白衣、和服、野良着、ウェディングドレス、などなど、さまざまな実例があります。

ご家族にとって、着替えの準備について考えることも、着替えの場面に居合わせることも、可能な範囲で手を出すことも、貴重な看取りの一場面となり得ます。そのことを留意して死後変化も配慮しながらの対応が大切です。

今回はエンゼルメイク時の更衣にまつわるケアのポイントを紹介します。

## 更衣にまつわるケアのポイント

### ● 衣類の準備に関する声かけについて

#### 声かけのタイミング

看護職の皆さんからよく届く問い合わせのひとつが「亡くなることを話題にするのはご家族にとってつらいと思われ、声かけのタイミングが難しい。いつがいいでしょう」といったものです。

しかし、遠慮して声をかけそびれているうちにそのときがきてしまい、衣類の準備ができないことは残念です。ご家族の立場となった方たちに話を伺っても、「それはちゃんと言ってほしい。言われないと気が付かないから」とのことでした。

ですから、はっきりとお伝えする必要があります。タイミングとしては、主治医からご家族に「週単位」といった容態についての説明が行われた際が自然な流れでおすすめです。

#### 声かけの具体例など

主治医からの容態説明のあと、「つきましては、万が一のとき（あるいは、くもしもの場合に>）のために、お帰りになる（在

宅看取りの場合<お着替えになる>）ための衣類のご準備をご検討ください」といった声かけをします。高齢者の場合は、ご本人が準備してたんすなどにしまっている場合があるため、「ご自分で準備されている場合もありますので、たんすなど確認されるといいかもしれませんね」などと付け加えるのもいいでしょう。

また、気管切開をしている方は、それを皮膚接合テープなどで目立たなくすることになりますが、カバーしているのが見えないようにする場合は、その上にスカーフや襟の高いシャツやブラウスなどをお召しいただくのもよいなど、ご家族に付け加えるのもいいでしょう。頭部をカバーしたい場合はカツラやキャップなども。

また、あらかじめの準備ができておらず、息を引き取ってから着替えを取りに帰ることになったご家族には、スーツや和服などによって必要な一式をメモしてさしあげるのもいいでしょう。落ち着いているようでも平静ではなく、お持ちになっても何かが足りないということになる場合がありますから。

### ● 看護計画に盛り込む

看取りが遠くないことが予期されている場合に限りませんが、衣類の準備の声かけの際に、誰がどのような形で準備するかなど、確認できていることを記述しておく、エンゼルケアを担当する人に情報が確実に伝わります。

### ● 高価な一点ものの衣類の場合は

高価な和服や、ご本人が事前に準備していた装束など、汚染したなら取り換えがきかないような衣類をご準備の場合、いったんは別のものをお召しいただき、臨終から数時間たってからお召しになっていただく方向で検討したほうがいいでしょう。とくにCVカテーテルを臨終後に抜去した方などは注意が必要です。抜去部から大量の水分がしみ出て、ご本人が大切に準備していた装束が汚染されてしまい別の衣類に着替えることになったという例があります。

### ● 更衣時の配慮点

#### 側臥位は最小限に

そくが  
側臥位になると重力の影響を受けて体液や便がもれ出る場合

## エンゼルメイク

亡くなったその人らしい容ぼう・装いに整えるケア全般のこと。つまり、身だしなみの整えのこと。保清や臭気対策、更衣、顔のメイクなど。

## エンゼルケア

エンゼルメイク、創部への処置、家族への対応など、担当している間のすべての死後ケアのこと。

アドバイザー

小林 光恵 (こばやし みつえ)

エンゼルメイク研究会代表



1960年茨城県行方市生まれ。東京警察病院看護専門学校卒業後、看護師として東京警察病院、茨城県赤十字血液センターなどに勤務のち、出版関係専門学校を経て編集者として各出版社に勤務。1991年に独立し、執筆の仕事が中心となる。「おたんこナース」「ナースマン」など。看護に美容ケアをいかに代表。最新刊『介護はケアマネで9割決まる!』。

図 1



靴下や足袋は、ほかの場面で手を出していない方などに声をかけて行っていただくような配慮をします

図 2



ネクタイはこのように輪っかにしてからお渡するとご家族が行いやすいです

があるため、背部や臀部の清拭、仙骨部の褥瘡処置の際など以外にはなるべく側臥位にならないことをおすすめします。脱衣や着衣は、可能であればご家族とともに上体を持ち上げるなどして仰臥位のまま行うのをおすすめします。

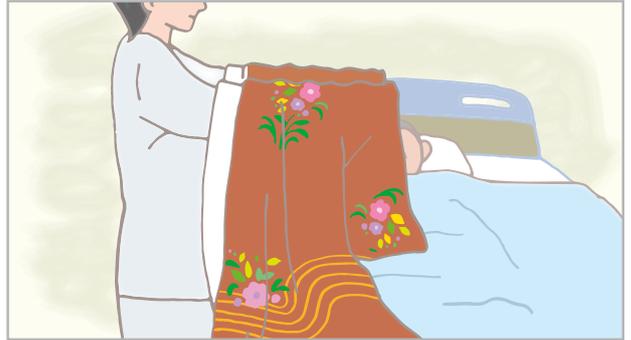
### ご家族にも可能な範囲で手を出していただく

靴下や足袋をはかせる、ボタンをかける、ネクタイをしめる、などご家族に声をかけて行っていただけます。(図1、図2)

### 和服など込み入った着付けが必要な衣類は、厳密な着衣はしなくてもよい

和服をきちんと着ていただくには時間がかかり、着衣のみに多く時間をとると、手浴、足浴、顔のエンゼルメイクなどのほかの時間がとれなくなるため、和服の場合は、じゅばん、着物を羽織って前を合わせ、その上に折り畳んだ帯を載せ、その上

図 3



じゅばんと着物を合わせてから一度に着付けると時間を要しません

図 4



帯を締めているかのように折り畳んで載せ、その上に帯締めを載せます

に帯締めを載せるといった対応でいいでしょう。はかまや他のなんらかの民族衣装など込み入った衣類も、着用したように身体の上から載せる対応でいいと思います。そしてご家族に「きちんと着付けたい場合は、葬儀会社の方に相談ください」と伝えるといいでしょう。(図3、図4)

### 腹部は緩めた状態にする

洋装も和装も、腹部は締めずにゆったりとさせます。時間経過とともに腐敗が進み、それとともに腹腔内圧が高まるため、帯やベルトなどで腹部を締めると、締めていない場合に比べて、腐敗による漏液のリスクが高まるという考えからです。

### 関連書籍

『ナースのための決定版 エンゼルケア』小林光恵 著(学研メディカル秀潤社)

『説明できるエンゼルケア』小林光恵 著(医学書院)

『ご遺体の変化と管理』伊藤 茂 著(照林社)